

「建交労とうきょう」はい
つでもみなさまからの記事
や写真を待っています。

（メール） tohonbukenkouro@sm
ile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労 おとうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820)8644(代)
fax 03 (3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる（〒60円）

東京都本部第29回委員会開催 24春闘方針決定

2月4日（日）第29回都本部
委員会を、東京トラックス健保会館
にて行い、執行部、委員併せて4
1名が参加しました。

石塚副委員長による開会挨拶と
諸役員選出、続いて松田委員長か
ら執行委員長あいさつを受け、東
京学習協江口健志常任理事より、
労働契約法による労働条件明示が
今年4月1日より改正されるに当
たり「非正規労働者組織化をいか
に進めるか。いま、なぜ非正規組
織化が大事なのか、どう進めるか。」
をテーマとした記念講演が行われ
ました。「新自由主義により非正
規労働者は労働者の4割を占め、
また正社員ではあるが家族を形成

できない賃金水準が蔓延し、ワー
キングプアが増大している。一方
で大企業は、利潤拡大のため政治
を利用し、その邪魔になる規制を
撤廃させ、より儲けやすい社会シ
ステムを作り、労働者は分断され
てきた。このような中、誰でも一
人でも入れるユニオンの意義は特
に大きくなっている。」と強調。
また、講演の中で建交労東京で準
備を進めている、共済を軸として
ゆるやかに労働者とながる組織
化について触れて頂き、労働組合
の原点は共済であるとして、共済
による組織拡大や個人加盟ユニオ
ンによる組織成功例を紹介され
期待を寄せて頂きました。

議案提案では第1号議案として、
昨年9月開催の都本部大会から現
在までの経過報告を提案しました。
第2号議案「24春闘方針第2
次案」の提案では、全国の建交労
中央春闘アンケート集約平均額に
基づき、統一要求提出日は2月1
4日（水）、要求額は月額380
00円、日額1800円、時間額
160円であることを提起しまし
た。月額要求については昨年比4
000円増となっています。労働
者の物価・燃料高騰による非常に
厳しい生活実態を表している、と
強調しました。また、全国・東京
トラックス部会が国土交通省に長年
要求してきた「トラックスステーシ
ョン(TS)やサービスエリ
ア(SA)での街頭監視」
が昨年実現した事を紹介
しました。集中監視期間
である昨年の11月～1
2月に、SAなどでトラッ
クメンによるドライバー
への聞き取りが行なわれ、
実際に悪質な荷主や元請
事業者の社名の公表・勧
告がされました。都本部
も東京春闘共闘主催官民
共同行動の中で、少なく
とも2017年から今日
に至るまで要求し続けて

きました。回答は「検討する」に
留まっていたが、粘り強く原
則的な運動で、要求を前進させた
成果です。私達はこれまでのたた
かいに確信を持ち、24春闘で私
達働く者の切実な要求を前進させ
ましょう。

続いて3号議案、中間決算・会
計報告を石塚副委員長が提案しま
した。質疑・討論では3名の委員
より発言がありました。

その後、1号議案・2号議案は
全会一致、3号議案は圧倒的多数
で全ての議案が採択され、24春
闘方針が決定されました。

最後は清水副委員長による団結
ガンバローにて閉会しました。

【書記長 遠藤 晃】

挨拶を頂きました。江部事務局長
の活動経過報告と活動方針案の提
案では、この大会に参加できなかつ
た支部、分会からも報告書を送つ
て頂き、豊かな内容になっている
事、女性部として様々な活動に参
加し、独自企画の「憲法カフェ」
もみんなの協力で実施できたこと、
また、大会直前には、神田支部の
東京CS分会の職場訪問で、20
代、40代の女性組合員から直接
話を聞く機会を得て、さつそく宇
津井女性部長は設計の専門性を生
かして、「女性トイレに化粧ボッ
クスがないから必要ね」と提案し
た事や、「立ち仕事で生理中の作
業は辛い」との声が、全労連女性
部作成「母性保護DVD」を青年
部と共に学ぶ、という今期方針に
生かされた事等の報告がありまし
た。引き続き4名の役員を選出し、
閉会となりました。

【東京女性部委員 廣川 陽子】

建交労東京女性部第24回大会開催 ～女性労働者の声や要求をもっと届けよう～

建交労東京女性部は
1月27日、第24回
大会を都本部会議室に
て8名の参加で行いま
した。横山委員の元気
な開会の挨拶で始まり、
来賓の中央女性部山本
事務局長と、秋山東京
青年部長からは、能登
半島地震に関する建交
労の取り組みや、奇し
くも地震発生前に青年
部が防災センターの見
学で学んだ教訓などの



東京女性部 団結して頑張ろう！

第29回都本部委員会質疑・討論



開会挨拶 石塚副委員長



方針案提起 遠藤書記長

建築設計支部いしずえ分会
宇津井よりか 執行委員長



建築設計支部は
いしずえ分会と新
中央設計東京分会

で構成されている。都本部の支援の下再建に取り組んでいる。いしずえ分会は1月に定期大会を開催した。中央本部主催の座談会に3名の仲間が参加し雑誌建交労に掲載された。東京女性部は1月にジェンダー平等社会の実現などをスローガンに定期大会を開催した。神田支部の分会に職場訪問を行い要望をヒアリングした。中央女性部アンケートへの協力に感謝します。

豊島運送支部
矢島 聖也 執行委員長



東京トラック部
会は2024年問
題を前に適正運賃

収受の実現や働き方の改善に取り組んでいる。4月の改善基準告示改定で働きやすい職場環境ができることを望んでいる。12月に定期総会を開催した。3月17日（日）8時〜トラックパレード、4月5日（金）統一宣伝行動を予定している。脳・心臓疾患者は14年連続ワーストワンの業界、深刻な運転手不足で2030年には荷物の3割が配送出来ない予想もある。

神田支部
上村 誠 執行委員長

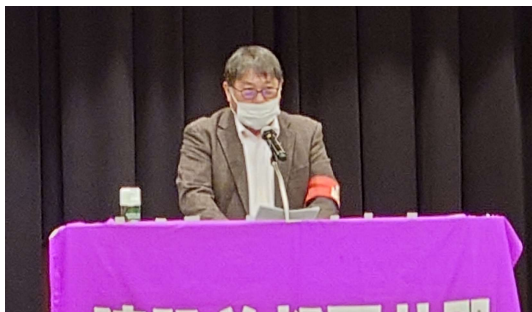


神田支部は春闘
に備え、定例委員
会等で要求を集約

歩合給に頼らない賃金形態の実現が課題。若い人の要求は休日取得。要求を絞り確かな実利獲得を目指す。東京女性部の訪問に感謝します。都本部の春闘方針、組織拡大と共済加入促進について質問がある。組織が減少する中、組織拡大検討委員会主催の宣伝行動は企画されているのか。また、共済の活用について具体的に聞きたい。

建設労働者春闘イエローアクション ～大幅賃上げを！週休2日制の実現を！～

首都圏の土建組合や建交労関係地協、国土交通労組など官民の労働組合で構成する建設首都圏共闘会議は、2月9日（金）日本教育会館で「建設労働者に大幅賃上げを！建設現場に週休2日を！」をスローガンに決起集会を開催しました。来賓に全建総連本部長谷部賃金対策部長、全建総連東京都連山本委員長・堀井書記長、日本共産党や立憲民主党から議員が駆けつけました。基調報告を行った上間事務局長は「賃金が上がらないのは、私達の努力が足りないからではない。地震の被災地でも自己責任の押し付けが見られるが、とんでもない事だ。賃金が上がらないのは政府の政策ミスによるものに他ならない。事実上金で政府を操作する財界に対しても、我々の要求を突きつけない」と、力強く呼びかけました。建交労から栃木県本部石井書記長がダンブ労働者の現状について報告し「燃料費の高騰に加え、インボイス制度のしかかり、売上が大幅に落ちている。ゼネコンや1次には適正単価での発注を求めたい。」と訴えました。埼玉土建や建設関連労連、生公連からそれぞれの職場での課題が報告され、建交労中央本部廣瀬書記長の集会アピール文読み上げと団結頑張ろうで集会は閉幕。その後新橋駅前で、約1時間バレンタインデーに因んだ「チョコつとの賃上げでは生活出来ない！」と書かれたチラシを配布しながら宣伝を行いました。【東京建設・関連部会 事務局長 笹原 和樹】



栃木県本部石井書記長



日本教育会館で開催しました



新橋駅前で訴える中央本部廣瀬書記長

組合掲示板

- 3月7日（木）10時〜中央行動
霞ヶ関ビルディング1階霞ヶ関プラザホール会議室（銀座線虎ノ門駅1番出口徒歩2分）
- 3月14日（木）10時〜バス関連支部（京王新労組）ストライキ集会 京王電鉄本社前（聖蹟桜ヶ丘駅徒歩1分）
13時〜鉄道本部貨物協議会JR貨物本社前宣伝行動（新宿駅ミッドタウン改札徒歩3分）
- 3月17日（日）10時〜トラックパレード沿道激励（都本部7F会議室（門前仲町））

第29回全国建設研究・交流集会 in 福島

2024年12月10日（日）
（11日（月））にかけて、建設政策研究所は第29回全国建設研究・交流集会を開催し、全建総連に加盟する土建組合、国交労組、建設関連労連、建交労など官民の建設関係の仲間206名が参加しました。東京大学名誉教授の平田直さんによる「関東大震災から100年〜大規模震災における地域建設業」と題した記念講演、法政大学社会学部准教授の江羅さとみさんによる「賃金引上げに向けた建設産業施策の動向と課題」と題した特別報告がありました。また、現地報告として全国革新懇代表世話人の伊藤達也さんが「東電福島第一原発事故から12年6ヶ月〜福島原発の現状と課題」について講演し、未だに住民本意となっていない復興政策を批判しました。2日目は、4つの分科会と被災地現地視察バスツアーが開催され、福島大学名誉教授の鈴木浩さん等が福島原発の現状についてより詳しい報告を行い、中央大学松丸和夫さん等が「中小事業者の課題解決に向けて」をテーマに講演されました。

【東京建設・関連部会 事務局長 笹原 和樹】

常磐ハワイアンセンター